

第 99 回エフエム熱海湯河原 番組審議委員会 議事録

- 1 開催日時 平成 29 年 11 月 16 日 (木) 13:30~14:30
- 2 開催場所 湯河原町商工会 会議室 202 号室
- 3 委員総数 12 名、出席委員数 10 名、欠席委員数 2 名
出席委員の氏名 深田真弓、館石晃一、立見修司 (代理: 小林)、小山みどり (代理: 川人)、大武宏、西海裕代、出口直樹、カ石朋香、小泉貴博、苅谷和彦
欠席委員の氏名 浅沼宇雄、石黒英亀
放送局側出席者 野原裕、野田英尚
- 4 委員長挨拶 深田真弓
- 5 前回審議番組の経過 開催通知に議事録を添付した。
- 6 議 事 ①番組を聴いてのご意見 ②皆様からのご意見

7 議事の概要 試聴番組について説明

(1)番組へのご意見

生放送ワイド番組内他コミュニティ FM 局との電話クロストークコーナー

(火) 09:00 レディオ湘南クロストーク 神奈川県藤沢市

(火) 17:15 FM しみずクロストーク 静岡市清水区

(水) 09:15 FM 小田原クロストーク 神奈川県小田原市

(金) 17:30 FM い〜じゃんクロストーク 山形県長井市

8 審議内容 番組審議

(1)番組聴取

委員よりの意見

・山形側のほうが年上のようなのだが、「です。ます。」調で丁寧なしゃべり方なのに対して、熱海側は「うん。うん。」などタメ口が多いのが気になる。

・取り上げる情報はパーソナリティが決めているのか？

→基本はパーソナリティ。内容によりディレクターが指定している

・山形のような遠い地区とのトークでは、観光施設や少し先の大きなイベント紹介をしているようなので良い

・湯河原ハロウィンイベントは悪天候だったがコンテストには湘南・小田原や静岡方面からも参加者がおり、このようなコーナーで他地域に宣伝してもらっている成果も出ているのかなと感じている。

・清水の回は早口に感じた。イベントの日程を「次の土曜日」と紹介するよりも「〇月〇日〇曜日」と伝えたほうが解りやすい。

・山形だけ遠い地域だが何か理由があるのか？

→先方から熱海の旅館組合経由で打診があり相互の地域の魅力、山形は物産、地域情報、熱海湯河原は観光情報という内容でトークしている。

・山形の方言クイズは面白くて良い。

- ・仲が良いのは伝わるが、「うん。」とか、「〇〇だね～」とか馴れ馴れしい口調はリスナーからすると聴きにくい。
- ・告知の時に一方通行になりがち。合いの手を入れたり、質問したり会話形式のほうがクロストークらしい。
- ・熱海の観光協会では、毎月浜松 FM に電話出演しているがイベント情報を話すと、パーソナリティだけでなくスタジオ内のスタッフも「すごい、行ってみたい」などリアクションをそのままオンエアしているのでフレンドリーに感じられる。
- ・あまりフレンドリーになりすぎると良くないが、告知と感じられないように自然に聴かせられる。
- ・藤沢、小田原、清水は行き来き可能な距離なので相互の情報発信が活かされていて良い。
- ・姉妹都市など（姉妹都市の別府はコミュニティ FM がないのだが）共通点のある地域の放送局とクロストークをしてはどうか。
- ・パーソナリティの言い回しのクセが強い所が気になる部分がある。
- ・山形とのトークは目指すところが見えにくい。山形が方言など面白い話題を出すなら、熱海も観光情報だけでなく別の情報を出すなどしてはどうか。
- ・山形、清水は遠いのでなぜその地域の FM とクロストークをしているか冒頭に説明を入れたほうが良いのでは。

(2) その他の意見

委員より

- ・イベント情報の収集方法／選定方法はどうかやっているのか。
→報道出し資料をパーソナリティに渡し各自選択またはディレクターが選択し指定している。

9 会社からの答申

挨拶 (株)FM 熱海湯河原 代表取締役社長 野原裕

- ・今回審議いただいたクロストークだけでなく放送する内容については、パーソナリティ任せにならないようディレクトして行かなければならない。
- ・次回1月の開催で審議会100回目を迎える。何か通常と違う形を考えたので委員の皆さんからも後日ご要望があればいただきたい。

10 その他参考となる事項

番組審議委員会の開催日を委員に諮ったところ、
次回は、平成30年1月25日（木）に熱海で開催する予定です。